

風しん抗体検査・予防接種のご案内

風しんの発生や流行を予防するため、下表のとおり「風しん抗体検査・予防接種」を実施します。詳しくは厚生労働省ホームページをご確認ください。

風しん抗体検査・予防接種	
期間	令和3年3月31日までの3年間
場所	① 全国の指定医療機関 ② 職場の健康診断 ③ 特定健診など (詳しくは医療機関や職場の健診担当者にお問い合わせください)
対象者	昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性を対象 令和元年度対象→昭和47年4月2日～昭和54年4月1日生まれの 男性 にはクーポン券を送付しています。 ※昭和37年4月2日～昭和47年4月1日生まれの 男性 については、次年度以降にクーポン券送付対象。 ただし、次年度以降に対象となる方でも希望すればクーポン券の発行は可能です。
料金	無料
持参物	①クーポン券(持参していない場合は受けられません。) ②本人確認用身分証明書(運転免許証など現住所の記載があるもの)
問合せ先	健康福祉課 健康推進係 ☎0948・65・0001

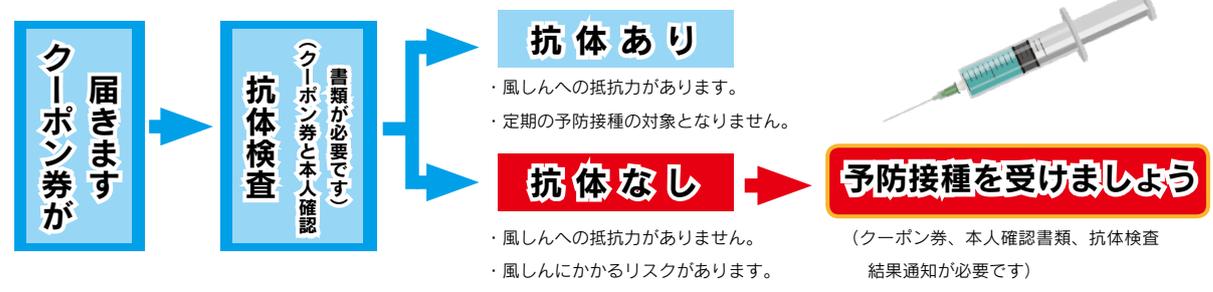
風しんに関する Q&A

風しん 厚生労働省

検索

<p>Q なぜ上記の対象者なの？</p> <p>A これまで風しんの予防接種を公費で受ける機会が全くなかった世代だからです。</p>	<p>Q なぜ風しんへの抵抗力が必要ななの？</p> <p>A 成人は小児に比べて症状が重くなることがあります。</p>
<p>Q 風しんに感染すると何が問題なの？</p> <p>A 電車や職場など人が集まる場所で多くの人に感染させる可能性があります。妊娠早期の妊婦に風しんを感染させると、赤ちゃんが先天性風しん症候群になる可能性があります。</p>	<p>Q では、どうしたらいいの？</p> <p>A まずは風しんへの抵抗力を確認するため、抗体検査を受けましょう。抵抗力がないこと(抗体)がわかった場合、抵抗力(免疫)をつけるために予防接種を受けましょう。</p>

～抗体検査・予防接種までの流れ～



風しんとは？

感染者の咳やくしゃみ、会話などで飛び散るしぶき(飛沫)を吸い込んで感染します。
小児は発熱、発疹、首や耳の後ろのリンパ節が腫れて、数日で治ります。まれに高熱や脳炎になって入院することがあります。
成人は高熱・発疹の長期化や関節痛など重症化の可能性があります。

先天性風しん症候群とは

妊娠初期(20週以前)に風しんにかかると、赤ちゃんが先天性心疾患・白内障・難聴を特徴とする先天性風しん症候群をもって生まれてくる可能性が高くなります。